公共事業ニュース

東京支局 TEL.03(5425)2070
多摩支局 TEL.042(527)7291

基本構想作成支援
エーシーエに

世田谷区は、南大蔵保育園と大蔵保育園を統合する「（仮称）区立南大蔵統合保育園」の整備に向けた基本構想作成支援業務をエーシーエ設計東京支社（千代田区）に委託することを決めた。公募型プロポーザルに応じた4者の中から最も優れた提案を行った同社を受託候補事業者に選んだ。11月をめどに構想を固める。工事着手は2029年度の予定で31年度の完成、運営開始を目指す。概算事業費は約9億4000万円。

世田谷区　南大蔵統合保育園整備へ

完成から50年がたつ南大蔵保育園と、築59年の大蔵保育園を統合した新園を現在の南大蔵保育園の敷地（大蔵1-7-11）に整備する。

同社に委託する業務は現況調査と整理・分析▽建築与条件の整理・検証▽建築計画案の比較・検討▽区が実施する説明会用の関連資料の提供▽基本構想案の取りまとめ、概略設計図書の作成（基本構想案には、設計コンセプトやゾーニングを含む）―など。

南大蔵保育園の園舎は鉄筋コンクリート造2階建て延べ599平方㍍、解体した跡地に建てる統合園の規模は、区の基準（定員122人）を満たした2階建てとし、延べ約1000平方㍍を想定する。園庭の他に駐輪場も整備する。事業費は設計費約6000万円、建築工事費約8億円、既存園舎の解体工事費約8000万円。

板橋区　板橋第六小学校改築　12日まで設計者受付

板橋区は、板橋第六小学校改築の設計者をプロポーザル方式で公募する。参加申込書などの提出期限は12日。2次審査に関わる書類の提出期限は3月18日。2次審査の上限額は3億6898万8000円（税込み）。参加を一部解体し、残りの部分を使用しながらの学校整備を想定し、段階的な工事で行う計画。改築後の規模は延べ約1万7008平方㍍。既設校舎の規模は鉄筋コンクリート造4階建て延べ4971平方㍍。敷地面積は6135平方㍍。所在地は大山町13ノ1。27年度以降の工事着手を予定している。

実施日は3月27日。結果は4月4日に通知・公表。

契約期間は2027年3月15日まで。契約上限額は3億6898万8000円（税込み）。参加を一部解体し、残りの部分を使用しながらの学校整備を想定し、段階的な工事で行う計画。改築後の規模は延べ約1万7008平方㍍。既設校舎の規模は鉄筋コンクリート造4階建て延べ4971平方㍍。敷地面積は6135平方㍍。所在地は大山町13ノ1。27年度以降の工事着手を予定している。

参加資格要件は区の競争入札参加有資格者であること、共同運営の格付けで200位以内の建築設計の登録が継続して5年以上であることなど。

契約期間中、南大蔵保育園の機能を一時的にしのぐ仮設保育園に移転する。

存園舎の解体工事費約8000万円。

改築工事の期間中、南大蔵保育園の機能を一時的にしのぐ仮設保育園に移転する。

千代田区　災害対策事業計画に〝目標設定〟

千代田区は、見直し作業を進めている災害対策事業計画の素案に、道路・橋梁の耐震補強・補修などを「目標設定事業」と位置付け、具体的な児童遊園の整備▽マンション安全・安心整備助成▽マンション防災計画などの策定支援▽電線類の地中化の推進▽帰宅困難者などの受け入れ施設の確保・整備▽DXを活用した帰宅困難者対策―で事業を促進する方針だ。3月末の計画策定を目指す。目標設定事業の項目は、年度末時点での到達目標や取り組み内容を明示しており、おおむね5年ごとに画面成の促進など。

道路・橋梁の耐震補強・補修　29年度末までに5橋

避難確保・浸水防止計画の策定など。29年度末時点での到達目標や取り組み内容を明示しており、おおむね5年ごとに画面成の促進など。

千代田区は、官庁・ビジネス街を抱える千代田区は、約3万6000社の事業所が集積しているため、復旧・復興のスピードが国全体の政治・経済に多大な影響を及ぼすとしている。

目標設定事業の概要は次の通り。

【道路・橋梁の耐震補強および小規模補修など】
◎29年度末時点での到達目標＝橋梁の塗装・補修工事5橋
◎取り組み内容＝25年度／1橋完了、26年度／1橋完了、27年度／1橋完了、28年度／2橋完了
【公園・児童遊園の整備】
◎29年度末時点での到達目標＝整備3箇所以上
◎取り組み内容＝25年度／整備1箇所、26年度／整備1箇所、27～29年度／整備1箇所
【マンション安全・安心に、都市機能が高度に集積している地域において、復旧・復興を支援】
◎29年度末時点での到達目標＝共用階段などを対象とする手摺り設置または段差解消など15棟、促進4棟、エレベーター戸開走行保護装置5基、3装置（地震時管制運転装置、停電時自動着床装置）を含む戸開走行保護装置、停電時自動着床装置）を含むエレベーター更新40基、防犯カメラなど新規設置10棟・更新20棟
◎取り組み内容＝25年度／マンション実態調査結果などに基づく、助成制度の新設・改定（補助率・上限額の見直し）の検討、26～28年度／必要に応じて助成制度の改定の検討、29年度／マンション実態調査結果などに基づく、助成制度の新設・改定の検討
【マンション防災計画などの策定支援】
◎29年度末時点での到達目標＝防災計画策定の促進4棟、エレベーター非常用備蓄キャビネット（地震時管制運転装置、停電時自動着床装置）を含む）配置60台、災害用資器材など購入費の助成100件
◎取り組み内容＝25年度／マンション実態調査結果などに基づく助成制度の新設・改定（補助率・上限額の見直し）の検討、26～28年度／必要に応じて助成制度の改定の検討、29年度／マンション実態調査結果などに基づく助成制度の新設・改定の検討

つづく

堀田さん「就職するなら大手にとアドバイス」

中島さん「社内の雰囲気や人間関係を重視」

西舘さん「まちづくりや再開発に携わりたい」

―施工管理職に進むきっかけは。

堀田「兄が大工職に勤めており、仕事内容を聞くうちに興味が湧いた。中学3年生の進路選択時に、建築の仕事に携わりたいと思い墨田工科高校に進学した。建築の勉強や会社説明会などで、現場で働く姿勢や施工管理の仕事内容を知っていく中で、現場の立ち上げから完成まで建築の全てに携われる施工管理に魅力を感じた」

中島「小学生の時に『鉄腕ダッシュ』というテレビ番組で、タレントが建設現場を訪れる企画があり、作業をしている姿を見て建設業に興味を持った。父と工作などのものづくりを共同で作業する中で、ものを作る仕事に携わりたいと思うようになった。最初は大工をやりたかったが、授業の実習を通して体力仕事は難しいと自ら判断した。先生から施工管理を勧められ、仕事内容を調べるうちに興味を持った」

西舘「墨田工科高校の近くに住んでおり、校庭で足場を組んでいた風景を見て、面白そうだと思った。当初は職に進みたかったが、先生から施工管理を勧められ、業務内容を調べるうちに施工管理に魅力を感じた」

―施工管理職のイメージについて。

堀田「休みが少なく、仕事量が多いイメージ。業務内容を見ると、品質管理や安全管理、原価管理、工程管理と細かい作業を滞りなく従事する必要があると感じている」

中島「高校入学前、建設業は楽しそうな印象だったが、入学してさまざまな人から話を聞く中で仕事内容が散務だと感じた。特に施工管理職のイメージは悪かった。インターネットなどの情報で職人ともめやすく、一つのミスの責任がすべて施工管理に向くのでは、と感じていた」

西舘「高校入学前建設業に対して無知だったので、特段何も印象を持っていなかった。先生や周りから、昔ながらのブラックだと感じた。特に施工管理は体系が多く、激務だと思っている」

―就活事情を教えてほしい。

堀田「施工管理に職種を絞って求人票を見始めた。職人も想定がしたが、建物完成まで見届けられるのは施工管理職しかない。就職するなら、中小建設会社よりも大手ゼネコン就職すべきだと先生からアドバイスをもらったので、大手企業を中心に応募要件の比較をした。大手企業の中でも研修制度が整っている企業に重きを置いた。第1志望の会社には縁がなかったため、気持ちを切り替えて就活を再開。改めて就活した中で、鴻池組は教育制度がしっかりしていたのが好印象だった。身体を動かすのが好きで、鴻池組はスポーツ施設の建設にも携わっているので、いつかは自身も施工に携わりたいと思っている」

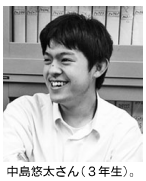
中島「就活では社内の雰囲気や人間関係を重視していた。住宅関係を中心に就活を開始。自宅が大和ハウス工業の物件で、リフォーム工事も依頼していたことを思い出し、会社見学を行った。施工管理に対して良い印象はなかったが、会社説明や実際の仕事内容を見学中にイメージが変わった。説明された仕事内容なら耐えられると思い、自宅のことも含めこれも縁なのかと感じ、就職先に選んだ」

西舘「あまり体力がなかったので、職人よりも施工管理職の方が適性だと感じ、施工管理を中心に就活を始めた。関係を重視したのは、入社後に自分がやりたいことができること。特に興味があったのが、まちづくりや再開発事業。東急建設ではグループで総合的な建設の事業を行っており、まさに理想的だった。なじみのある渋谷駅の再開発事業にも携わっており、自分もいつか再開発の施工管理として活躍したいと思い入社を決めた」

（多摩支局＝八坂篤穂）

西舘琢眞さん（3年生）。趣味は旅行。土日は友達と日帰り旅行へ

堀田修志さん（3年生）。趣味はラーメン屋巡り。お気に入りは味噌ラーメン


中島悠太さん（3年生）。趣味はオンラインゲーム。

私たちの〝就職戦線〟⑱

―建設系学生・生徒に就活のホンネを聞く―

墨田工科高校・中

工業系高校に対する企業の求人活動が活発化している。人手不足を背景に、これまで高校生の採用をしてこなかった大手建設会社からのオファーが増加。進路指導担当も大手建設会社の施工管理職への就職を勧めているという。今回は大手建設会社の施工管理職に就職する墨田工科高校建築科3年生の堀田修志さん、中島悠太さん、西舘琢眞さんの3人に就活事情について話を聞いた。

25年度予算フラッシュ　文京区
投資的経費は236億円　前年度比17.5％の増額

文京区は、投資的経費を336億7000万円とする2025年度当初予算案を公表した。前年度比で35億2500万円（17・5％）の増額となった。

明化小学校をはじめとする中学校の改築や特別教室の改修などの学校施設整備費が前年度よりも約45億円増額したことが主な要因。

改築に向けて基本・実施設計を進める2校の小学校では、小日向台町小学校に6億3447万円、千駄木小学校に43万8000円をそれぞれ計上。小中学校の特別教室の改修には30億9614万円、昭和小学校の体育館には5億2708万円を充てる。

公園再整備事業では、切通公園など6園の再整備工事と、後楽公園など3園の基本・実施設計を行うため、8億5107万円を計上。無電柱化整備事業では、4億4180万円を充てる。

一般会計の予算規模は過去最大の1470億円で、前年度と比べて194億7200万円（15・3％）の増額となった。

04万円を計上した。

文京シビックセンターの改修事業では、25、26階改修に6億6700万円と2億4522万円、議会フロア改修に2億1586万円を盛り込んだ。

小日向台2丁目の国有地に特別養護老人ホームを整備する事業では、整備・運営を行う事業者への補助金として2億7135万円を充当。文京白山の郷の大規模改修には6600万円、設計を進めている新たな青少年プラザの建設には1億0695万円を充てる。

別養護老人ホームを整備する事業では、整備・運営を行う事業者への補助金として2億7135万円を充当。文京白山の郷の大規模改修には6600万円、設計を進めている新たな青少年プラザの建設には1億0695万円を充てる。

公園再整備事業では切通公園など6園の再整備工事と、後楽公園など3園の基本・実施設計を行うため、8億5107万円を計上。無電柱化整備事業では、4億4180万円を充てる。

一般会計の予算規模は過去最大の1470億円で、前年度と比べて194億7200万円（15・3％）の増額となった。

文京区
八千代エンジで支援
バリアフリー基本構想改定

文京区は、バリアフリー基本構想とバリアフリー基本構想重点整備地区別計画の改定支援を公募型プロポーザルを実施した結果、八千代エンジニヤリング（八千代市）に委託する事業者を決める契約を締結した。

今回の業務では25年度に現行の基本構想の最終評価を実施し、その後、上位計画や区民の意見などを踏まえて移動円滑化に関する第3次重点整備地区別方針、生活関連施設、生活関連経路の見直しを行い、基本構想を改定する。

26年度には策定した基本構想に基づき、重点整備地区における公共交通機関や特定経路、道路・公園などの事業者、管理者らと連携しながら新たに特定事業を取りまとめ、地区別計画を改定する。

7000円、重点整備地区別計画改定を支援業務が1899万7000円。履行期間は4月1日～2027年3月16日まで。

25年度予算　練馬区
予算概要

練馬区の2025年度一般会計予算案のうち、建設関連の主な事業は次の通り（単位は円）。

7308億0758万7000＝美術館・貫井図書館のリニューアル＝5億3632万▽学校施設の整備＝1億2万▽マンション防災対策＝1億6322万▽住まい再計画遺跡の整備＝17億3999万▽都市計画遺跡の整備＝22億0601万▽小中学校・区立施設への再エネ100％電力導入、カーボンニュートラル化設備設置助成金＝2億2590万▽豊玉サイクルセンターの移転整備＝1億1055万▽光が丘図書館の改修＝1億1632万▽住まいの防犯対策＝7707万▽大江戸線延伸推進基金＝30億▽大江戸線新駅予定地周辺まちづくり＝2899万▽大江戸線延伸推進＝1億2581万▽補助135号線整備＝2億7182万▽新宿線の活性化事業の促進＝2億1058万▽新宿線沿線まちづくり＝1億7953万▽防災まちづくりの推進＝10億7053万▽耐震化の促進＝5億2722万▽学校施設の整備＝1億3158万▽都市計画道路・生活幹線道路